

## 第6学年 外国語活動学習指導案

い組 男子18名 女子20名 計38名  
指導者 J T E 高 味 淳  
A L T Christopher Sneller

### 1 単 元 生活習慣を伝え合おう（英語ノート2「自分の一日を紹介しよう」）

#### 2 単元について

##### (1) 単元の位置とねらい

この期の子どもたちは、これまでに「Tomの学校」や「Tomの一日」の活動を通して、外国の学校や一日の様子に触れることで、外国にはいろいろな生活の仕方があることに気付き、生活習慣についてもっと知りたいという願いをもつようになってきている。また、時刻や生活を表す英語の音声やリズムに慣れ親しみながら、A L TやJ T E、友達と楽しくコミュニケーションを図るようになってきている。さらに、分からない英語を推測して聞いたり話したりする能力や、目的や相手、状況を考えて必要な英語を用いようとする能力を身に付けてきている。

そこで、本単元では、外国の生活習慣だけでなく、自分と身近な友達との一日の生活習慣を比べる活動を通して、自分との共通点や相違点に気付いたり、友達の新しい面に気付いたりして、互いの理解をより深めさせていきたい。また、時刻や生活を表す英語を使ったスキットやゲーム活動、自分の生活を紹介する活動を通して、A L TやJ T E、友達とより積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を高めさせていきたい。さらに、分単位での時刻を表す英語や、より多くの生活を表す英語に慣れ親しみながら、A L TやJ T E、友達と協力してコミュニケーションを図る能力を身に付けさせていきたい。

この学習は、外国の職業を表す英語に慣れ親しみ、友達の夢と比べ、互いのよさを認め合いながら自分の夢を伝え合う「自分の夢を語ろう」へと発展するものである。

##### (2) 指導の基本的な立場

子どもたちにとって、外国の生活習慣を知り、自分たちの生活習慣と比べることは、新たな発見が多く、もっと知ったり調べたりしたいという思いが高まるものである。一方で、外国だけでなく、友達は「何時まで勉強しているのか。」「朝は何時に起きているのか。」等、身近なところにも目を向け、興味をもち始めていることが考えられる。そこで、外国の友達に自分の生活を紹介し合う場面を想定し、そこに必要な表現を考えていく活動を設定することは、自分の思いを積極的に英語で伝えようとする意欲を喚起させるのに適している。また、自分の生活と比べることで、共通点や相違点に気付いたり、友達の新しい面に気付いたりして、互いの理解を深めることにも適している。

このような生活習慣を話題にして、そこに必要な英語を表現する楽しさを味わったり、言語や文化に対する理解を深めたりするために、スキットやゲーム活動、自分の生活を紹介し合う活動を重視していきたい。また、A L TやJ T E、友達に積極的に関わったり、友達同士で教え合ったりして、英語でコミュニケーションを図りたいという願いが連続・発展していくように学習活動を展開していきたい。

具体的にはまず、A L TとJ T Eが朝の生活を表すスキットを見せ、時刻や生活習慣への興味を高めさせる。そして、リズムチャンツやゲーム活動を通して時刻や生活を表す英語に慣れ親しませていく。また、「英語ノート」(p44, 45)のクイズを解き、世界には時差があることやA L Tの国の生活習慣についての話を聞くことで、自分の生活習慣との共通点や相違点について気付かせ、学習に対する意欲を喚起させていく。

次に、自分の生活を想起させながら、時刻や生活を表す英語を使ったゲーム活動を取り入れる。その際、分からない表現を、ジェスチャーや知っている英語を使ったり、母語を用いて推測したり

しながら、ALTやJTE、友達に積極的に尋ね、コミュニケーションを継続していくことに気付かせるために、コミュニケーションギャップを取り入れたスキットを見せる。

さらに、自分の生活を表にし、それを使った「ショー・アンド・テル」を行う。その際、聞く側も質問をする等して、互いにコミュニケーションを図れるようにする。

このような学習を通して、互いのよさを認め、協調することへの喜びを味わいながら、相手と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を高めることができるものとする。

### (3) 子どもの実態 (対象者：い組児童38名 数値は延べ人数で、結果は主なもののみ表示)

<p>① 言語や文化に対する体験的な理解</p> <p>○ 外国の言語や文化、他者についてもっと知りたいか。 ＜はい(34)＞ ・違うところ分かる。(24) ・同じところ分かり、つながりも分かる。話題ができる。(14) ・面白い。(10) ＜いいえ(4)＞ ・役に立つか分からない。(3) ・日本のことをもっとよく知るべきである。(1)</p>
<p>② コミュニケーションへの積極性</p> <p>○ 外国の人と話すのは好きですか。 ＜はい(32)＞ ・互いのことが分かり合える。(11) ・自分が学んだ英語が使える。(6) ・いろいろな英語が分かる。(4) ＜いいえ(6)＞ ・伝わっているか不安である。(3) ・英語が苦手である。(2) ・発音に自信がない。(1)</p>
<p>③ 生活を表す英語への慣れ親しみ</p> <p>○ 英語で表現できそうな生活習慣(英ノ2p47より抜粋) ・学校へ行く。(32) ・バスケットボールをする。(30) ・水泳をする。(23) ・帰宅する。(6) ・入浴する。(4) ・掃除をする。(1)</p>
<p>④ 英語が分からないときの対応(方略的能力) (※「塾に行く」という英語が分からない。)</p> <p>・絵に表す。(31) ・ジェスチャーをする。(31) ・知っている英語や似ている英語を使う。(11) ・写真を見せる。(6) ・ローマ字を使う。(3)</p>
<p>⑤ 「外国語活動」に対する達成感・満足感</p> <p>○ どんな時、楽しかったり、うれしかったりするか。 ・活動が成功した時(14) ・上手に話せた時(13) ・英語が覚えられた時(10) ・心が通じた時(4) ・ほめられた時(3)</p>

本学級の子どもたちは、外国の言語や文化、ALTや友達等の他者について興味・関心をもっている。しかし、興味をもっていない子どももいることから、言葉の面白さや豊かさに気付いたり、日本と外国との文化の共通点や相違点を知り、多様なものの見方や考え方があることに気付いたりすることが、互いのよさを認め合い、共存していこうとする態度につながることを理解させていきたい。(①)

コミュニケーションに関しては、多くの子どもがそのよさを感じている。しかし、英語を話すことに不安をもっている子どももいることから、英語を上手に話せなくても、コミュニケーションを図ろうとする態度が大切であることを活動を通して実感させていきたい。(②)

また、生活を表す英語に関して慣れ親しみやすくするために、「バスケットボール」や「スイミング」等、日常使うことが多い語彙を先に取り扱っていきたい。(③)

子どもたちは、英語が分からないときにどのように周りの人に尋ねればよいか、自分なりの様々な方法を考えようとしている。そこで、よりよいコミュニケーションを図ることができるように、周りの人に分からない英語を尋ねる活動を設定し、実際に獲得させ、分かった喜びを味わわせていきたい。(④)

さらに、子どもたちは、活動が上手にできたり、コミュニケーションが図ることができたりした時に、達成感や満足感を覚えていることから、そのような機会を多く設け、相手と積極的

にかかわろうとする態度を高めさせていきたい。(⑤)

### (4) 指導上の留意点

ア 「時刻や生活を表す英語を使って遊ぼう」の活動では、生活習慣を表す英語への興味・関心を高めさせるために、ALTの母国の生活習慣を話す。そして、自分の生活習慣と比べさせ、文化に対する理解を深めさせていく。また、時刻や動作を表す英語を用いたスキットやゲーム活動に取り組みせて、活動への意欲を喚起させていく。

イ 「生活習慣を伝え合おう」の活動では、友達と互いの生活習慣を教え合うゲーム活動に取り組みさせる。その際、分からない英語はALTやJTE、友達にジェスチャーや知っている英語等を用いて尋ね、自分なりの方法で獲得させながら、コミュニケーションを図らせる。また、自分の一日を紹介させ合い、友達との共通点や相違点に気付かせていく。

ウ 活動全体を通して、授業後にワークシートを配布し、学んだことを書かせることで、言葉の面白さや豊かさに気付かせたり、多様なものの見方や考え方があることに気付かせたりして、互いの言語や文化を理解し、よさを認め、協調する喜びを味わわせていく。

### 3 目 標

- (1) 世界には時差があること，ALTやJTE，友達の一日の過ごし方には共通点や相違点があることを知り，文化に対する理解を深めることができるようにする。
- (2) 「時刻や生活を表す英語を使って友達と遊びたい。」という願いのもと，ALTやJTE，友達と協力しながら，積極的にゲーム活動に取り組んだり，発表したりすることができるようにする。
- (3) 時刻や生活を表す英語の音声やリズムに慣れ親しむことができるようにする。
- (4) 分からない英語を，ジェスチャーや知っている英語を用いてALTやJTE，友達に尋ねながら，コミュニケーションを継続することができるようにする。

### 4 指導計画 (全4時間)

※「英ノ」は英語ノートを示す。

楽しさの深まり	時間	過程	学習課題と学習活動	教師の具体的な働きかけ
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 時刻や生活を表す英語や世界には時差があること等を知る楽しさ</li> <li>○ 時刻や生活を表す英語を発話する楽しさ</li> <li>○ 時刻や生活を表す英語を使ったゲームをする楽しさ</li> <li>○ 友達のことを思いながらゲームをする楽しさ</li> <li>○ 分からない表現を自分なりの方法で尋ねる楽しさ</li> <li>○ 生活習慣を互いに話したり聞いたりして，友達とのかわりを深める楽しさ</li> <li>○ これまでの自分と比べながら学習を振り返る楽しさ</li> </ul>	1	意欲をもつ	<b>I 時刻や生活を表す英語を使って遊ぼう</b> <b>Let's Play Time Games.</b> ・生活を表すスキットを見る。(朝) ・スキットの内容と語彙や表現について話し合う。 ・時刻を表す英語を知り，発話する。 ・リズムチャンツをする。 ・“スネラーさんが転んだ”をする。 ・世界には時差があること等を知る。(英ノ p44, 45) Wake up. What time is it? It's 6:30. Wash your face. What time is it? It's 6:40.	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生活の様子を具体的に想像させるために，時計の模型や生活用品を前面に並べておく。</li> <li>○ <b>文化に対する理解を深めさせるために，英語ノートに気付いたことや考えたことを書かせる。</b></li> <li>○ 時刻や生活を表す英語の音声やリズムに楽しく慣れ親しませるために，リズムチャンツやゲーム活動を取り入れる。</li> </ul>
	2	つかむ	<b>Let's Play Life Games I .</b> ・生活を表すスキットを見る。(夕方) ・スキットの内容と語彙や表現について話し合う。 ・時刻や生活を表す英語を発話する。 ・リズムチャンツをする。 ・フリーズゲームをする。 ・探偵ゲームの遊び方を知る。 At 7:30, What were you doing? I was eating breakfast.	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <b>文化への理解を深めさせるために，友達の生活習慣との共通点や相違点について考え，発表させる。</b></li> <li>○ 友達のことを思いやることの大切さに気付かせるために，英語の発話ができない友達の支援の仕方について考えさせる。</li> </ul>
	3 (本時)	挑戦する・広げる	<b>Let's play Life Games II .</b> ・生活を尋ねるスキット1を見る。 ・時刻や生活を表す英語を発話する。 ・リズムチャンツをする。 ・エスパーゲームをする。 ・スキット2を見る。[方略的能力] ・探偵ゲームをする。(英ノ p47) At 4:30, What were you doing? I was playing baseball.	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ コミュニケーションを継続させるために，分からない英語があるときのALTへの質問の方法を考えさせる。</li> <li>○ 協調することのよさに気付かせるために，友達の意見を尊重し合いながら，楽しくゲームに取り組んでいるグループを取り上げ，紹介する。</li> </ul>
	4	振り返る	<b>Let's enjoy "show and tell" .</b> ・生活習慣のワークシートを作成する。 ・「ショー・アンド・テル」の仕方を知る。(英ノ p 48, 49) ・「ショー・アンド・テル」をする。 ・これまでの学習を振り返る。 「ショー・アンド・テル」の例 C1: At 8:00, I go to school. C2: At 9:00, What were you doing? C1: I was studying.	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の思いを英語で伝えられた喜びを味わわせるために，生活習慣を紹介する活動を取り入れる。</li> <li>○ 発表を聞いている方も英語を発話できたことの喜びを味わわせるために，話し手に積極的に質問させるようにする。</li> <li>○ 学習の成就感を味わわせるために，新たに学んだことや考えたこと等を振り返らせる。</li> </ul>

## 5 本 時 ( 3 / 4 )

### (1) 目 標

- ア 生活を尋ねるために必要な英語を知り、それらに慣れ親しむ活動を通して、ALTやJTE、友達と協力しながら積極的にゲーム活動を楽しむことができるようにする。
- イ 分からない英語を、ジェスチャーや知っている英語を用いながらALTやJTE、友達に尋ね、コミュニケーションを継続することができるようにする。

### (2) 本時の展開に当たって

- コミュニケーションが図ることができた喜びや達成感を味わわせるために、**グループで助け合いながら目的を達成していくゲーム活動**を取り入れる。言語や文化の体験的な理解を深めさせるために、自分と友達の生活の**共通点や相違点等をワークシートに書かせ、発表**させる。

### (3) 実 際

過程	主な学習活動	語彙や表現	時間	教師の具体的な働きかけ
意欲をもつ	1 Greeting (全体) 2 生活を尋ねるスキット1を見る。 3 本時の学習場面や必要な英語について話し合う。(めあての確認)	【Skit I】 A: At 4:00, What were you doing? J: I was playing soccer. J: At 8:30, What were you doing? A: I was watching TV.	5	○ 公園で互いの生活について話をしている場面を具体的に想像させるために、公園の拡大絵や生活用品を前面に設定する。
つかむ	<b>Let's Play Life Games II.</b> 4 時刻や生活を表す英語の発話に挑戦する。 5 リズムチャンツを行う。 6 エスパーゲームをする。 グループを二つに分け、一方が生活を表すジェスチャーをする。もう一方がその生活を表す名前を推測し、代表者が答えをALTに伝える。	【Esper Game】 C1: At 4:30, What were you doing? C2: Playing baseball. C1: At 7:30, What were you doing? C2: Eating dinner.	12	○ 時刻や生活を表す英語に慣れ親しませるために、英語ノートの絵 (p47) を活用しながら、ジェスチャーを取り入れたチャンツをする。
挑戦する	7 分からない英語を尋ねるスキット2を見る。  <b>どんな方法で尋ねようかな?</b> ゲームをするジェスチャーをしてみては? 知っている英語を使ってみては? "TV Game" 等 ゲームに出てくるキャラクターを言ってみては?		18	○ コミュニケーションを図るよさを味わわせるために、友達と協力して答えを導き出すゲーム活動を行う。 ○ 分からない英語をALTやJTE、友達に積極的に尋ねさせるために、具体的な方法を考えさせる。 例① ボタンを操作する等のジェスチャーを示す。 例② "TV" 等の知っている英語を示す。 例③ それぞれのゲームに出てくる有名なキャラクターを示す。
広げる	8 ライフボードゲームをする。 	【Life Board Game】 1 グループを作る。 2 生活を表す絵カードを数枚もつ。 3 生活を表す英語を、ジェスチャーや英語等で表現しながらカードを出していく。 例) "What were you doing?" "Eating dinner." 5 全員が絵カードを表現したら終了する。	18	○ 友達とのかかわりを通して英語を使うことの楽しさを味わわせるために、グループ全員が時刻や生活を表す英語を発話していくゲーム活動を取り入れる。
振り返る	9 Presentation (発表) 10 Reflection Time (振り返り) ○ 感想交流 		10	○ コミュニケーションが図れた喜びや達成感を味わわせるために、うまく表現できない友達にヒントを与える等して協力し合うよううながす。
	11 Ending			○ <b>言語や文化の体験的な理解を深めさせるために、気付いたことや考えたことをワークシートに書かせ、発表</b> させる。 ○ 学習への成就感や満足感を味わわせるために、それぞれの活動を称賛する。